

ぐんま男女共同参画プラン構成事業評価表

	事業コード	担当部局	担当課	NO
事業名				
事業目的				
事業内容				
事業と対応するぐんま男女共同参画プラン基本課題				

[illegible]

県民からの意見 (男女共同参画 推進に係わる 意見)	利用者等からの意見		行政関与の妥当性	○ 欄
				1 県
	一般からの意見			2 市町村
				3 民間事業所
				主として関与は 、従として関与は○

評 価	
一 次 評 価	実施：事業実施部門
	指標からみる事業の成果（あてはまる記号に○をつける）
	A ：十分である B ：概ね十分だが改善の余地がある C ：ある程度の成果は認められるが改善の必要あり
	総合評価

目標または目標値の設定根拠（目標または目標値の設定がない場合はその理由）	

事業名		担当課	NO
二次評価（実施：人権男女共同参画課）			
1 事業について			
男女共同参画プランの構成事業であることを見直す必要性			
対応するプラン上の施策を体现しているか			
2 指標及び目標設定（根拠）について			
目標の設定（根拠）が、プラン終了時の状態として適当であるか			
目標設定（根拠）が、事業実施（行政）側の視点ではなく、事業の効果・県民の受益の視点であるか			
現在の指標は、男女共同参画推進を評価する上で適当であるか（今後、性別等把握すべき点）			
3 評価について			
男女共同参画推進事業として、一次評価結果の妥当性			
4 その他			
男女共同参画推進の上で改善すべき点			

ぐんま男女共同参画プラン構成事業評価表＜一次評価＞

記載要領

1 記入箇所

事業名・事業目的・事業内容・事業と対応するぐんま男女共同参画プラン基本課題欄は平成14年度に確認済みの内容が記入されています。誤りがあれば訂正してください。

指標欄の実績・目標・施策実施効果率または目標達成効果率、評価の一次評価欄及び目標または目標値の設定根拠を記入してください。

二次評価、三次評価は後ほど行いますので様式にはありません。

2 記入する事業の年度

特に年度が指定してある場合を除いて、全て14年度のことについて、記入してください。

3 記入要領

記入欄が小さくてデータを記入しきれない場合などは、適宜スタイルを変更してください。

データが無い場合は、「データ無し」あるいは「-」のように記入してください。

担当職員数

一人の職員が1年でひとつの事業だけを担当した場合を1.0と換算してください。たとえば一人の職員が、自分の担当する事業のうち、評価対象事業の業務割合が2割であったとすれば0.2と記入してください。

直接・間接事業費

事業にかかる経費のうち、予算上明確になっている部分を直接事業費、コピー代や消耗品のように、予算上どの事業か不明確であるが、実際にかかっている経費を間接事業費のように分類してください。配当替、流用等の額を含めた決算額を記入してください。

12年度実績

12年度に同じ事業を実施している場合は実績を記入してください。12年度に実施していない場合は13年度実績を記入し、(13年度)のように記入してください。14年度

14年度実績

14年度の実績を記入してください。

17年度目標

目標または目標値(できる限り数値が望ましい)を記入してください。14年度で完了・廃止した事業または17年度までに完了・廃止が決定している事業については、事業終了年度の目標を記入してください。

▶ 計画等に目標値がある場合はその数字を入れてください。その際、目標が17年度以外であるときは、17年度の数字に置き換えてください。

▶ 特に計画等に目標値がない場合は担当所属において、妥当と思われる数字を考え、記入してください。この場合、努力なしに当然に到達できるものや、実現不可能な理想(たとえば事故死亡率0%など)を目標としないようにしてください。

▶ 目標が12年度実績を下回ることもあり得ますが、そのまま御記入ください。

▶ ○周年記念事業のように、この事業を1回でもすることが目標という場合は、目標値には14年度実績値と同じ数字を入れてください。

全ての指標について、目標または目標値を記入してください。その上で、目標または目標値の根拠を様式最後の「目標または目標値の設定根拠」欄に記入してください。目標または目標値の設定ができない場合も理由を別紙に記入してください。

施策実施効果率・目標達成効果率

- ▶ 目標値の設定ができない場合→評価表の算定式に従い、施策実施効果率を記入してください。
- ▶ 目標値の設定がある場合→評価表の算定式に従い、目標達成効果率を記入してください。
- ▶ 14年度に開始した事業は、(ロ)/(ハ)で記入してください。
- ▶ 12年度(13年度)事業を実施したが、データが無い場合→計算は不要です。
- ▶ (イ)と(ロ)が同じ数値の場合→効果率は0です。
- ▶ (イ)と(ハ)が同じ数値の場合→目標達成効果率を(ロ)/(ハ)で記入してください。
- ▶ (ハ)が(イ)より小さい場合、(ハ)-(イ)/(ロ)-(イ)として計算してください。

その他

ア県民からの意見

県民からこの事業について、男女共同参画推進に係わる意見があった場合に記入してください。データがない場合はデータなしで結構です。

イ行政関与の妥当性

当事業が県、市町村、民間事業所のいずれが関与するのが妥当か、主として関与すべきところの番号に○、従として関与すべきところの番号に△をつけてください。

評価

ア指標から見る事業の成果(施策実施効果率または目標実施効果率からみた客観的な評価)

の算定結果を次の表を参考にしてA・B・Cのランクにあてはめてください。
の算定結果が無い場合は、適宜判断をしてください。

参考 イ = 12年度実績、ハ = 17年度目標の場合

目標達成効果率
0.50以上 = A
0.25以上 = B
0.25未満 = C

イ総合評価

指標による評価の結果と指標以外に考慮すべき事項を記入し、それらを考慮した上での判断を記入してください。指標以外に考慮すべき事項とは、事業を巡る社会状況の変化、予算の見直しなどをいいます。

目標または目標値の設定根拠

それぞれの指標ごとに、設定根拠及び目標値が最適水準・満足水準・許容限界水準(注)のいずれに近いものなのか、記入してください。「根拠」とは計画等を意味します。計画等が無い場合は、現在何が課題であり、どういう状態にするのが望ましいかということを記入してください。目標又は目標値が設定できない場合はその理由を書いてください。

- (注) 最適水準 期待されている理想的な状態の実現を目指したもの。
満足水準 少なくとも一応満足できる状態の達成を目指したもの。
許容限界水準 最低限度必要とされる状態の確保を目指したもの。

ぐんま男女共同参画プラン構成事業評価表＜二次評価＞

記載要領（視点）

○ 基本的視点

事業の本来業務について指摘するのではなく、あくまで男女共同参画プランの構成事業として、男女共同参画推進の上でどうかという視点で二次評価を行う

○ 評価事項

1．事業について

男女共同参画推進事業たり得ているか（男女共同参画プランの構成事業であることに無理はないか）

対応するプラン上の施策を体現しているか

2．目標設定について

目標が、真にプラン終了時において達成されたい状態として設定されているか
男女共同参画推進における目標が設定されているか

目標設定が、事業実施側の視点ではなく、事業の効果・県民の受益の視点から為されているか

3．指標について

男女共同参画推進（性別）にかかわる実施と効果を測れる指標が設定されているか

4．評価について

男女共同参画推進事業として、一次評価の結果は妥当であるか

5．その他

その他、男女共同参画推進の上で改善すべき点はないか